

景観工学概論

2 units (selection)

Junko Sanada · ASSISTANT PROFESSOR / REGIONAL AND URBAN PLANNING, DEPARTMENT OF CIVIL AND ENVIRONMENTAL ENGINEERING

Target) 本講義の目的は、景観のなりたちやさまざまな土木構造物の形、その意味を知り、国土空間における「人の作為」を認識でき、国土空間への関心と理解を深めることである。

Outline) 本講義では、景観工学の基礎であるながめのなりたちや、人々の暮らし方があらわれる景観、土木構造物の形やその特徴、意味について説明する。

Keyword) 景観工学, 土木構造物

Relational Lecture) “[景観デザイン](#)”(0.5)

Goal) 土木工学の「現場」である国土と土木工学との関係を把握できる。

Schedule)

1. ガイダンス, 景観工学とは
2. ながめの成り立ち
3. 景観デザインの現場
4. 都市景観の法制度と諸問題
5. さまざまな公園と景観整備
6. コースワーク①(公園)
7. 公園のコースワークに関するレポート発表会
8. 土木遺産をめぐる現状と課題その1
9. 土木遺産をめぐる現状と課題その2
10. 国土基盤施設のかたち①総論
11. 国土基盤施設のかたち②道路構造物(橋)
12. 国土基盤施設のかたち③道路構造物(道路)
13. 国土基盤施設のかたち④その他
14. コースワーク②(橋)
15. 橋のコースワークに関するレポート発表会

Evaluation Criteria) レポートおよび出席点で評価し、6割以上を合格とする。
ただしレポートが一つでもかけている場合は不合格とする。

Textbook) プリントを配布

Reference)

- ◇ 風景学入門 中公新書 1982年 中村良夫著
- ◇ 景観の構造 技報堂出版 1975年 樋口忠彦著

Contents) <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=216514>

Contact)

⇒ Sanada (A411, +81-88-656-7578, sanajun@ce.tokushima-u.ac.jp) MAIL

Note) 授業を受ける際には、2時間の授業時間毎に2時間の予習と2時間の復習をしたうえで授業を受けることが、授業の理解と単位取得のために必要である。